

妙智會

4月14日 本部供養会
本部本殿(ライブ配信)
宮本法嗣先生ご指導

Vol. 60
2022. 4. 23
1/2

本日は祈願文の中にもありました様に、15日にお誕生をお迎えになられる会主さまのお祝いを、皆さまと共にさせて頂きました。

私たちが今、この妙智會で正しい先祖供養と懺悔の為のお導きをさせて頂いて、果報を頂けるのも、会主さまのお陰さまです。

本日改めて心からの感謝をもって、これから更に修行に邁進するとお誓いください。

ウクライナの紛争の話になりますが、私たち人類というのは、誕生してからずっと紛争が絶えないわけであります。

よく会主さまから「人間の持っている業は、いつまで経っても変わらないのです」そして、大導師さまからは「人間とういうのは争うものを持っています。だからこそ合掌世界が大切です」とご指導を頂きました。

そして、妙智會のお導きについて会主さまは「信仰に関心がない人に向いてもらう、心というものを伝えていくのが妙智會であり、真実のお導きです。だから世の柱、土台になれるのです。世界平和に繋がるのです」と仰っておりました。

会主さまはそれを願われていたわけであります。

更に「必ず日本から世界に広がり、日本が変われば世界が変わるのです。だから妙智會は日本で生まれたのです」と仰いました。

信仰を知らない方に、優しい顔と優しい言葉で「先祖供養は良い事です。悪い事は謝るのです」と観音様の心で教えていく事が大切であります。

会主さま大導師さまは信者さん以外の沢山の方にも好かれていました。

お導きとはまず、人に好かれる事から始まります。

私たちは人に対し、優しい言葉と姿、顔で接していかなければなりません。

行きつくところ、私たち自身の人柄なのです。

私たちの持っている悪い部分を少しでも良いものに変えて、お三方のように、大きい心もって、素晴らしい言葉と姿で相手から信頼を持たれる人、好かれる人になっていくと、信仰に関心を持っていない方も必ず向いて下さるのです。

お経をあげること、法名を集めることも大事ですが、妙智會の大きな方向性は「人格完成に努力する」ことです。